



杉二だより

令和 5 年度 11 月号
 杉並区立杉並第二小学校
 〒166-0016 杉並区成田西 3-4-1
 TEL 03-3313-0564
<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi2shou/>



校外学習の学び

9 月が終わり、10 月から 11 月にかけて各学年とも校外学習に出かける機会が増えてきています。杉並第二小学校では、1 学期は学年・学級での学習をする姿勢の基盤づくりに力をいれ、2 学期に実感を伴う体験学習で学びを深める体制をとっています。特に、涼しさを増すこの秋の時期にでかけるのは、絶好の好機会と捉えてよいでしょう。

校外学習の学びは「行った先での学び」だけではありません。「社会性を高める学び」もあるのです。

まず、「集団で学校の外を歩くのは、学校の中で歩いているのとは違うのだ」という学びです。

これから歩こうとしている道の周辺の住宅には、「夜働いて昼に休んでいる人もいるかもしれない。」「介護をする人がいて静かに過ごしている人もいるかもしれない。」等々、様々な状況の人がいることをよく話します。すると、どの子ども道では大声で話しながら歩いてはいけないという気持ちになります。想像力を働かせながら、地域にも目を向けさせながら、歩くという意識を自覚させるのです。

もう一つは「皆さんは杉並第二小学校の看板を背負ってでかけている」という学びです。

先ほどの「道での歩き方」はもちろん、交通機関でのマナー、行った先でのあいさつを含めた立ち居振る舞いなど、あらゆる場面で「杉並第二小学校の児童は・・・。」と評価されることを伝えます。せっかく見学した場所で、「もう二度とこないでほしい。」と思われるか、「また来年大歓迎です。」と思われるか、どちらが得かは、児童はすぐにわかります。来年、自分たちのあとに続く下級生の存在があるからです。

出かける前にこの 2 つの話をする、どの子ども学校の外でどう振舞えばいいかについて自覚をもってくれます。

児童が学習する立場からは、こんな学びがあります。普段は学校という中で学習したことを実際に行ってみて、どうなっているか、確認をしたり、思いがけない発見をしたりすることです。また、そこでの発見が、自分の生き方の選択肢を広げることにつながることもあります。特に東京都は、日本の首都として見どころ・学ぶところがたくさんある都市です。

ですから、この秋の校外学習の機会を「ただ観光としてみてる」だけではなく、自分が学んだことの理解を深めるところまで落とし込んでほしいと考えています。

学校に戻り、見学したことをしっかりとまとめ、振り返りをします。そして、一連のこの過程がより確固たる体験に基づいた知識としてため込んでいく生きる力になっていくのです。ですので、小学校段階での校外学習はとても意義深いものです。

校長である私は、児童を見守る責任者としての位置付けもあるのですが、一方で、東京の中で様々な地域にでかけ、見聞を広め、自分自身の知識を更新しているのも事実の一つ。児童と一緒に学びを深めている秋です。

新校舎関係の予定

○令和 6 年 2 月 1 日～12 日
引越しのため休校

○令和 6 年 2 月 13 日～
新校舎登校・新校舎での生活スタート

○令和 7 年 11 月頃
グラウンド完成予定

11 月のあいさつ標語

○きょうしゅくに かんしゃつたえて

いただく

2 年 児童作品

○あいさつで みんなの心に 花がさく

6 年 児童作品

11 月の生活目標

「思いやりや助け合いの心をもとう」

思いやりや助け合いが大切だということは、どの子どもも学んで知っています。今月は、「心を形にする」ことを意識させていきます。思いやりの心や助け合いの心を「言葉や行動」という形に表して友達や地域の人に伝えることが目標です。